

市町村自治の振興につきましては、常日頃から格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、現在、各市町においては、昨年の中日本台風からの復旧・復興や新型コロナウイルス感染症拡大の影響から経済の回復対策のために多大な財政支出を余儀なくされており、極めて厳しい財政状況の中、自己決定、自己責任において創意・工夫に富んだ施策を展開し、住民が豊かさやゆとりを実感できる多様で個性的な地域社会をつくるべく鋭意努力しているところであります。

このような中、急速に進展する人口減少・少子高齢化社会に向けた福祉対策の推進、子育て・教育環境の充実など、実効性ある施策を展開するには、必要な財政措置など県の支援が必要不可欠であります。

県におかれましては、こうした市町の実情をご賢察いただき、令和3年度の予算の編成並びに施策の決定にあたりまして、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

令和2年12月14日

栃木県知事

福田 富一 様

栃木県市長会

会長 佐藤 栄一

栃木県町村会

会長 古口 達也

【警察本部】

「いちご一会とちぎ国体」等の開催を見据えた街頭防犯カメラ等の設置に係る支援について

街頭防犯カメラについては、昨今の社会情勢を鑑み、住民の安心安全確保に有効な手段として、既に市町では自ら設置し、また一部では設置をする自治会等への補助を行うなど、住民と一体となった取り組みを行って来たところ、今般、開催が2年後に迫った「いちご一会とちぎ国体」及び「いちご一会とちぎ大会」（以下「国体等」という。）への対応も新たに必要となって参りました。

国体等は、国内最大規模のスポーツイベントであり、多くの来県者が見込まれることから、各市町においては、おもてなしを含め万全の体制で実施できるよう、県のご支援の下、開催準備に取り組んでおりますが、競技会場周辺等では大変多くの人が移動するため、事件・事故の発生も懸念されるところです。

このようなことから、各市町は、安全対策の強化を図るため、街頭及び競技会場への防犯カメラの増設などを検討しておりますが、防犯カメラの設置には設置後の維持も含め、多額の費用が見込まれることから、必要性は認識しつつも財政的な負担を考慮すると慎重な対応とならざるを得ません。

つきましては、県におかれましても財政状況は大変厳しいものと存じますが、住民及び来県者の安心安全を図った国体等となるよう、街頭防犯カメラ等を設置する市町に対しご支援を賜りますようお願いいたします。